

令和6年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【技術（職業）・家庭】

掲載数

3

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 横須賀市	中複合	技術 (職業) ・家庭	ものづくり	能力別にグループを分けて「仕事」を行った。「カードづくり」ではそれぞれの能力に合わせて仕事を分担し、紙パックからビニールを剥がした紙をちぎる担当、ミキサーにかける担当、紙すきをする担当に分かれて作業してカードを作り上げた。仲間と仕事をする楽しさや、商品をつくりあげる達成感など仕事への楽しさを実感することで将来への生きる希望を見出すことができた。	中学部1, 2, 3年 年間を通して行っている。
2 湘南三浦	中1	技術 (職業) ・家庭	防災教育	災害が起こったときには、学校に泊まったり非常食を食べたりすることを学習し、防災意識を高めた。非常食の学習では、実際に「おかゆ」を食べる体験をした。ふりかけをかけたたり、普段食べている白米との違いを考えたりしながら、日常との違いを知り、いのちの大切さを学んだ。防災避難訓練を継続的に実施していくことで、生徒の学びが深まっている。	職業家庭の授業で継続的に実施
3 神奈川県	中1	技術 (職業) ・家庭	さつまいもの生育	中央農業高校の畑にて5月より苗植から11月の収穫、収穫後の調理までの一連の流れで授業を実施した。さつまいもの成長にあわせて作業記録を写真で残し、さつまいもが成長していく過程を振り返った。そこで、すぐに作物が成長できているのではなく、自分たちで水やり等を行うことで成長したことを感じるようにした。調理を行う前には「いただきます」などのあいさつの意味を確認し、命についても学習をした。	・知的障害教育部門 ・実施月は5月～11月 ・中央農業高校の先生にアドバイスを受けて実施。